

# 市民犠牲許すな連絡会 ジャンボハガキ例文集

- ・今の助成金では、まったく足りません。学童保育が望むのは予算の拡充です。
- ・助成金引き上げで、保育料負担の軽減を！
- ・子どもを安心して託せる指導員のために、助成額の引き上げを！
- ・すべての小学校区に学童保育所を設置してほしい！
- ・学童保育の補助金はカットしないでください。
- ・助成金はぜんぜん足りません。もっと引き上げるよう、毎年名古屋市にお願いしています。もし、カットされたら学童保育所がつぶれてしまいます。
- ・学童保育所が閉所するかもしれない、という危機感を持って地域・保護者が運営しなければならないなんて、おかしいです。子どもの生活の場がなくなるのは地域の責任ではなく、市の責任です。
- ・まったく余裕なく、毎年ギリギリの運営です。助成金の大幅引き上げを40年前から市に訴えてきているのです。
- ・経済的な理由で、学童保育所に入れるかどうか迷う家庭があります。こんなおかしいです。必要な家庭が安心して入れるように、助成金を大幅に引き上げてください。
- ・地域まかせ、保護者任せの学童保育ではなく、市が責任を持って設置してください。
- ・学童保育の助成金を3倍に増やしてください。
- ・保育料が5,000円以下になるように助成金を引き上げてください。そうすれば、学童保育所に入る人がもっと増えます。
- ・子どもが生活し、育つ場にお金をかけないのでは、名古屋市では子どもは育てられない、ということです。ぜひ学童保育の助成金を引き上げてください。
- ・指導員が長く働き続けられるように、経験年数に応じて基本単価を増額してください。
- ・保育時間の延長について補助を増やしてください。
- ・ひとり親世帯への補助がされていますが、ぜんぜん実態にあっていません。更なる引き上げを求めます。
- ・高学年も、安心して生活でき育つことができるように補助対象にしてください。
- ・建物・施設を耐震なども含めて、しっかりしたものに。
- ・プレハブ施設が、子どもの生活の場なんて信じられません。他都市では本建築で建てています。施設を充実してください。
- ・障害をもった子どもも不安なく生活できるように、指導員の加配と施設をバリアフリーにしてください。

などなど...

**「学童がこんな風になったらいいな！」**  
**というような願いを気軽に書いて下さいね！**